

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査の内容を変更させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しく願い申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】： 抗IA-2抗体

【変更日】： 平成30年12月1日(土)受付分より

【変更内容】

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
2493	抗 I A-2 抗体	検体量・保存	血清 0.6mL ・ 冷蔵	血清 0.3mL ・ 冷蔵
		検査方法	ELISA法	RIA法
		基準値	0.6未満	0.4未満
		所要日数	4~7	4~10

【変更理由】

検査試薬販売中止に伴い、ELISA 法による抗 IA-2 抗体の受託へ変更致します。

【検査概要】

1型糖尿病は、劇症1型糖尿病、急性発症1型糖尿病、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の3つに分類されます。このうち、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)は2型糖尿病と類似した臨床像を呈しますが、治療法が異なるため、適切な治療のためには病型の判別が重要となります。

その診断には膵島関連自己抗体の測定が必要ですが、陽性率の高い抗 GAD 抗体の陰性例において、抗 IA-2 抗体陽性の場合、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の可能性がります。

抗 IA-2 抗体は、2018年4月診療報酬改訂により「30歳未満」に限る年齢制限がなくなり、30歳以上であっても、抗 GAD 抗体陰性患者の1型糖尿病の診断に用いることができるようになりました。

【疾患との関連】

1型糖尿病

緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)

※裏面に続きます。

【関連する主な検査項目】

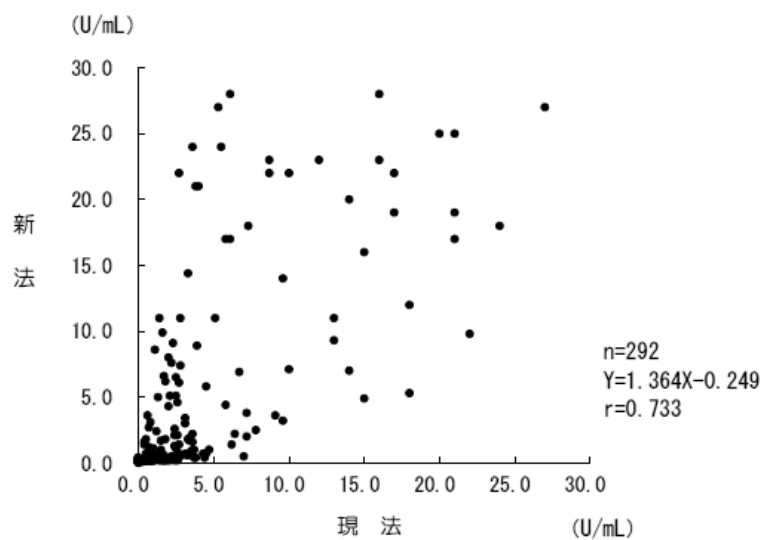
抗 GAD 抗体
インスリン抗体
亜鉛トランスポーター8 (ZnT8) 抗体

【現法と新法の相関図】

報告下限値以下は、実測値を用いました。

現法: 0.4U/mL 未満

新法: 0.6U/mL 未満



【参考文献】

川崎 英二, 他 : 医学と薬学 66(2) : 345~352, 2011. (検査方法参考文献)

川崎 英二, 他 : 医学と薬学 75(6) : 669~680, 2018. (臨床的意義参考文献)